

ごあいさつ



九州少年柔道場連盟 会長（長崎県柔道場連盟 会長）
本村龍太郎

春うらかな時節である4月14日より16日にかけて、予想だにしなかった巨大地震（震度7）が熊本県に突発して、被災は隣接する大分県まで波及しました。そのため、熊本県では5月下旬に至っても生活環境や生産機能が破壊された状況が続き、不自由な避難生活を余儀なくされている数多くの方々がおられます。

このような状況下で、道義的意味を含めて「柔道大会なのか」と異議の声も聞かれ、そこで九州各県、山口県地区の担当役員が一堂に会して協議会がもたれました。席上、熊本県担当役員より、「災害による内向きな環境を打破する復興の一灯になるよう大会開催を希望する」と提案があり、各県担当者はこの案に衆議一決して大会開催が決議されました。

熊本県の選手の皆さんには練習どころではない環境下であろうと危惧されますが、従来の練習で蓄えた実力を発揮して下さいをお願いします。

さて、昨年7月全日本柔道連盟が「少年柔道人口の底辺拡大」を目指して、「全国少年柔道協議会（少柔協）」を結成して、少柔協が後援する「全国少年柔道教室」が、昨年8月福島県をスタートして、本年3月全国20番目に長崎県でも開催されました。長崎県では県出身の石角（坂上）洋子、向井幹博両先生の指導のもと、少柔協がモットーとする「遊戯的要素を採り入れた、基礎体力強化へつながる無理のない全身運動」をして、楽しい時間を過ごして、参加者の間で好評でした。

もとより、各県の指導者の先生方は1) 将来支障を起こす負傷から選手を守るため「膝つき技の禁止」など独自の罰則規定を設けたり、2) 保護者の理解を深める目的で「保護者も参加する練習」を試みたり、3) 柔道の基本、柔道の公式とも云える「形競技会」を開催したり、種々の創意工夫を重ねて「少年柔道の振興」に努力をして来ておられます。このような指導者の先生方の従来の勝負重視のワクを脱却して、楽しむ柔道へ多面的な周辺環境を構築する試みは、「少年柔道の普及と発展」に結実するものと期待されます。

本日より2日間、被災された選手の皆さんは過去と現在の異常事態を忘れて、柔道に集中して没頭して下さい希望します。

選手の皆さんの健闘を祈ります。



第34回 九州少年柔道大会式次第

司会進行 村 田 勝

平成28年6月18日(土曜日) 開 場・受 付 12:00

審判・監督会議 12:30

《開会式》13:00～

- | | | |
|--------------|-----------------|-----------|
| 1. 開 会 宣 言 | 九州少年柔道場連盟副会長 | 吉 田 利 之 |
| 2. 国 歌 斉 唱 | | 北 川 ク ミ |
| 3. 優 勝 旗 返 還 | 前年度優勝 | 福岡中部柔道場連盟 |
| 4. 大会会長挨拶 | 九州少年柔道場連盟会長 | 本 村 龍 太 郎 |
| 5. 来 賓 挨 拶 | 九州柔道協会会長 | 藤 田 弘 明 |
| | 九州柔道協会理事長 | 二 宮 和 弘 |
| | 長崎県議会議員 | 近 藤 智 昭 |
| 6. 来 賓 紹 介 | ※各県よりご臨席の先生方を紹介 | |
| 7. 試合上の注意 | 審判長 長崎県柔道協会理事長 | 佐 原 恭 輔 |
| 8. 選 手 宣 誓 | 修喩館(長崎県) | 松 永 七 海 |

試合開始 13:30 予定

平成28年6月19日(日曜日) 開 場 8:00

試合開始 9:00

《閉会式》12:30頃予定

- | | | |
|------------|--------------|---------|
| 1. 成 績 発 表 | 長崎県柔道場連盟副理事長 | 俣 野 正 仁 |
| 2. 表 彰 | | |
| 3. 閉 会 宣 言 | 九州少年柔道場連盟副会長 | 小 野 政 男 |

大会役員



大会会長	(九州少年柔道場連盟会長)	本村龍太郎
大会副会長	(九州少年柔道場連盟副会長) (九州少年柔道場連盟副会長) (九州少年柔道場連盟副会長) (九州少年柔道場連盟副会長) (九州少年柔道場連盟副会長) (九州少年柔道場連盟副会長)	磯野喜昭 小野龍雄 吉野政男 迫田利之 鳥居敏文 塚本征支 三宅二郎 寛
大会顧問	(九州少年柔道場連盟特別相談役) (九州少年柔道場連盟顧問) (九州少年柔道場連盟顧問) (九州少年柔道場連盟顧問) (九州少年柔道場連盟顧問) (九州少年柔道場連盟顧問) (九州少年柔道場連盟顧問)	米村英世 宮崎弘祐 植木眞佐 堤部雪武 河部一三 平田治勝 吉原桑江五 江島
大会委員長	(九州少年柔道場連盟理事長)	近藤智昭
大会副委員長	(九州少年柔道場連盟副理事長) (九州少年柔道場連盟副理事長)	松本太朗 清立威寛典
大会委員	重坂田小大田松 松井中山野原本 哲清克泰浩秀 人美実世一紀修	中平古江平石 村井藤田田 清敏輝紀 司彦誠彦典充 竹市伊佐松岩 下岡藤藤永田 喜政和春正章 隆治幸夫司宏 村本花古阪夔 上吉堂澤本毛 和洋武伸恭 男征浩均幸次
審判長	佐原恭輔	
審判員	第1試合場	☆阿野朋弘(長) 花堂武浩(熊) 大屋隆(佐) 平山亨(長) 高木ゆり(北) 飯田勝弘(筑)
	第2試合場	☆近藤辰正(長) 小林剛(北) 坂本了奈(佐) 小森泰洋(長) 芦刈吉則(福) 伊藤奈奈(筑)
	第3試合場	☆金谷雄士(長) 岩岡正展(熊) 坂本慎吾(宮) 平井敦(長) 松本智洋(北) 大塚武士(筑)
	第4試合場	☆中村善弘(長) 牧村充展(北) 中村正一(筑) 本村龍一郎(長) 熊谷岳也(福) 河野育彦(山)
	第5試合場	☆辻野和幸(長) 山本拓真(長) 山田立守(筑) 野下孝志(長) 佐藤友康(福) 江藤輝彦(大)
	第6試合場	☆白澤健太郎(長) 牧野和則(熊) 高山康治(山) 大島忠臣(北) 大庭義弘(長) 佐賀純一(福) 阿南昇吾(大)
	第7試合場	☆福島誠一郎(長) 南岩永千裕(佐) 奥田英俊(山) 西田和孝(宮) 西川和秀(長) 岩永千草(長) 斉藤貴幸(大)
	第8試合場	☆福田一行浩(長) 緒藤方将文(熊) 幸島賢二郎(山) 袴田裕三(宮) 坂田行雄(長) 藤春哲志(福) 石元浩司(大)
	第9試合場	☆枝徳光悟(長) 荒木徳朗(長) 遠矢定(宮) 徳永拓磨(長) 古賀徳浩(佐) 稲月隆好(大)
	第10試合場	☆陣内眞津喜(長) 今田忍(熊) 吉田英貴(宮) 飯星洋(長) 江口善幸(佐) 岩田修典(山)
補助員/掲示/時計/救護	長崎鶴洋高校・長崎海星高校・長崎瓊浦高校・長崎柔鍼スポーツ専門学校	
救護医師	河野昌文 今村剛	
総務	松永正司 村田勝 島田茂 松永千登勢 松本正修 松添英一郎 林田昭彦 松永正太郎	



第34回 九州少年柔道大会要項

- 1. 目的** 柔道の普及、発展と相互の親善を深め、次代を担う少年の健全な精神と体力の養成、礼儀正しく、心豊かな他人に対して思いやりのある少年の育成を目的とする。
- 2. 主催** 九州少年柔道場連盟
- 3. 共催** 佐賀県柔道場連盟・大分県少年柔道協会・北九州柔道場連盟・熊本県少年柔道場連盟
長崎県柔道場連盟・宮崎県柔道場連盟・筑後少年柔道場連盟・福岡県中部柔道場連盟
山口県柔道協会・鹿児島県柔道会
- 4. 後援** 九州柔道協会・公益財団法人 増田美術武道振興協会・医療法人 光仁会 光仁会病院
いけだ小児科・医療法人 剛友会 諸隈病院・東洋マーシャルアーツディストリビューション・
H I ヒロセ
- 5. 日時** 平成28年6月18日(土)～19日(日)
- (1) 6月18日(土) 団体予選・団体戦決勝トーナメント
- | | | | |
|---------|-------|----------|-------|
| ① 受付・開場 | 12:00 | ② 審判監督会議 | 12:30 |
| ③ 開会式 | 13:00 | ④ 試合開始 | 13:30 |
- (2) 6月19日(日) 個人戦
- | | | | |
|--------|------|--------|------|
| ① 開場 | 8:00 | ② 審判会議 | 8:30 |
| ③ 試合開始 | 9:00 | | |
- 6. 会場** 長崎市「長崎県立総合体育館メインアリーナ」(長崎市油木町7-1) ☎095-843-6521

7. 実施種目及び参加基準

(1) 団体試合

- ①参加チームを3ブロックに分け、予選として各ブロックのリーグ戦を行い、各ブロックの上位2チームによるトーナメント戦あるいはリーグ戦を行う。
- ②体重の重い順に大将から配列する。なお、補欠の起用後の配列についても同様にする。(男女混合可)
- ③リーグ戦の順位の決定は次による。
- ア リーグ戦におけるチーム対チームの勝敗は次による。
- (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- (イ) (ア)で同等の場合は、勝ち数の内容により勝ちとする。
- (ウ) (イ)で同等の場合は、引き分けとする。
- イ リーグ戦の順位は、3勝・2勝1分・2勝1敗・1勝2分・1勝1敗1分・1勝2分・3分・1敗2分・2敗1分・3敗の順とする。
- ウ (イ)で同等の場合はリーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。
- エ (ウ)で勝ち数の同じ場合は、勝ち数の内容により上位とする。
- オ (エ)で同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。
- カ (オ)で同等の場合は、負け数の内容により上位とする。
- キ (カ)で同等の場合は、抽選とする。
- ④トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
- ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- イ (ア)で同等の場合は、勝ち数の内容により勝ちとする。
- ウ (イ)で同等の場合は、代表選を行う。

⑤各学年下記のようにチームを編成する。

1年生及び2年生 5名によるチーム編成

3年生 8名 35kg級…4名 35kg超級…4名 4年生 8名 40kg級…4名 40kg超級…4名

5年生 8名 45kg級…4名 45kg超級…4名 6年生 8名 50kg級…4名 50kg超級…4名

⑥学年階級ごとに2名の補欠を認める。

⑦原則として、軽量級から重量級の出場は認めるが、重量級から軽量級の出場は認めない。

(2) 個人試合

①小学生学年別トーナメント戦とし必ず優劣をつける。

②各学年下記のように区分する。

小学1年生の部男女混合各県5名

小学2年生の部男女混合各県5名

小学3年35kg未満級(軽量)男女混合各県4名

小学3年35kg超級(重量)男女混合各県4名

小学4年男子-40kg級(軽量)各県4名

小学4年男子40kg超級(重量)各県4名

小学5年男子-45kg級(軽量)各県4名

小学5年男子45kg超級(重量)各県4名

小学6年男子-50kg級(軽量)各県4名

小学6年男子50kg超級(重量)各県4名

小学4年女子-35kg級(軽量)各県4名

小学4年女子35kg超級(重量)各県4名

小学5年女子-40kg級(軽量)各県4名

小学5年女子40kg超級(重量)各県4名

小学6年女子-45kg級(軽量)各県4名

小学6年女子45kg超級(重量)各県4名

8. 参加資格

(1) 各地区連盟に所属し、各道場代表者が推薦した者を地区代表として地区連盟会長が認めた者。

(2) スポーツ保険に加入している者。

*大会当日時間の関係上体重測定を行いません。教育的立場から指導者の皆様は正確な体重区分の中で参加申し込みしてください。審判員が階級に疑義を認める場合は、体重測定し出場の判断をする。

9. 審判規定

(1) 国際柔道連盟(IJF) 試合審判規定及び「少年大会申し合わせ事項」による。※規定のゼッケンを着用

(2) 勝敗の判定基準は、

ア) 「有効」以上。または、相手と「指導2」以上の差が付いた場合は優勢勝ちとする。また、「指導3」まではポイントを与えないが、4つ目の「指導」は、「反則負け」となる。

イ) 個人戦は、僅差判定により必ず優劣を決す。(GSは実施しない)

(3) 審判規定運用上の申し合わせ事項は別に定める。※別紙参照

(4) 試合時間は、全学年正規の2分間とする。

10. 審判員 各県柔道場連盟、少年柔道協会指導者及び長崎県柔道協会の審判員によって行う。

11. 組み合わせ 前大会を参考にし、主催者が厳正、公平に行う。

12. 表彰

団体戦表彰 各学年1位を10点、2位を5点、3位を3点とし、各学年総計で1位から3位まで表彰する。

優秀選手賞 団体戦出場選手の中より、各連盟が推薦した6名とする。

個人戦 学年階級ごとに、第1位～第3位(2名)までを表彰する。

敢闘賞 ベスト8まで賞状のみとする。

13. 事故取扱

(1) 本大会試合中に事故が発生した場合、大会本部は大会会場での応急手当のみを実施する。

その他の処置・手当・治療等は各団体の責任において処置すること。

(2) 申し込みにあたり、各団体の責任者は、保護者の承諾書を了しておくこと。

14. 申込先

〒851-2108 長崎県西彼杵郡時津町日並郷763番1号 九州少年柔道場連盟事務局 近藤 智昭

◎ 申し込み締め切り 平成28年5月31日 必着

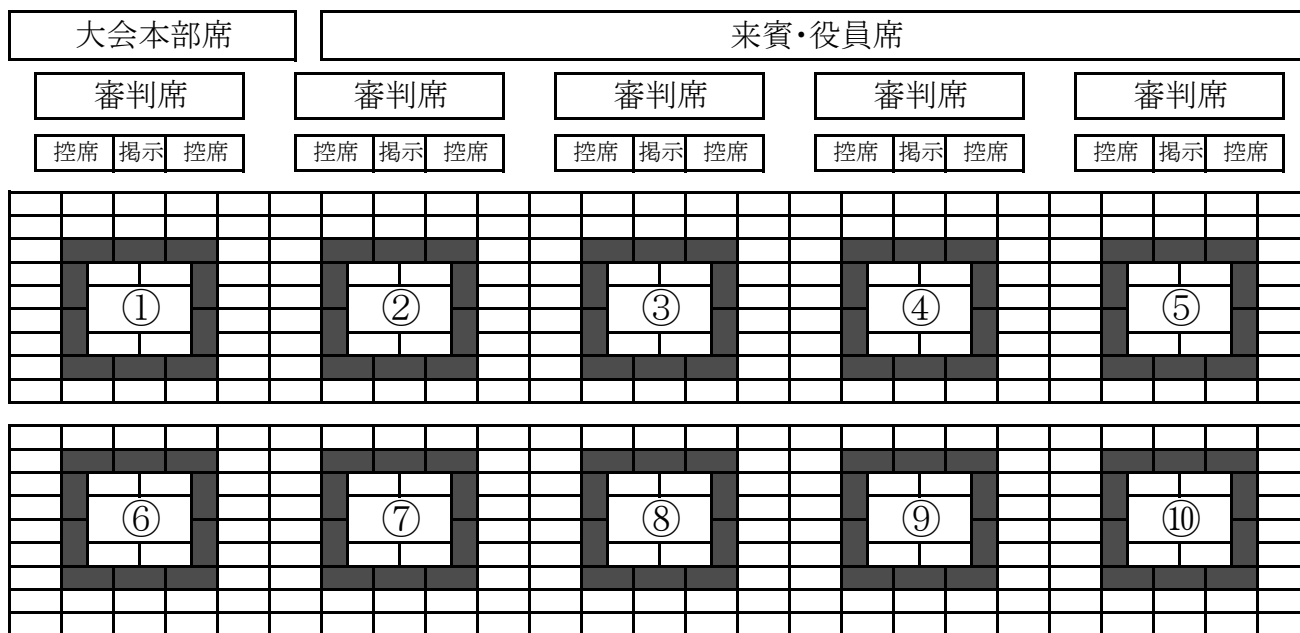


第34回 九州少年柔道大会申し合わせ事項

本大会は、小学生の九州大会であり、“安全指導”並びに、“教育的立場”から事故のないよう配慮する為、次の事項を申し合わせる。

- ◎ 両膝を最初から同時に畳に着いて背負投等を施した場合、審判員合議の上「反則負け」とする。しかし、団体戦の場合は、選手エントリーの都合もあるので、その後一連の試合も、出場を認める。また、片膝を最初から畳に着いて背負投等を施した場合も、通常の審判規定では罰則はないが、本大会では「指導」を与える。
- ◎ 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した選手は、専門医の診察を受け出場許可を得ること。
- ◎ 試合中、頭部を強打し試合続行不可能な場合は勿論の事、審判員が危険と判断した時も、審判員合議の上、試合者を棄権させる。また、個人戦の出場も認めない。
- ◎ 大会当日体重測定は行わないが、審判員が階級に相違があると思われた場合、体重測定を実施し超過の場合は失格とする。また、個人戦の出場も認めない。
- ◎ 背中中の“ゼッケン”のない選手や、柔道着の袖口を折り曲げて着用している選手の出場は認めない。但し、肩口での折り曲げ、ズボンの裾での折り曲げは認める。
- ◎ 監督・コーチ、一般の声援でも、審判員を侮辱するような暴言があった場合は、審判員合議の上退場とする。また、声援の中でも「教育的配慮に欠ける」応援も厳重に注意する。
- ◎ 監督・コーチの服装も、審判員に準じ大会に相応しい服装・格好にて宜しく願いたい。
(短パン、Tシャツ等の軽装はお控え下さい)
- ◎ 大会当日は、役員・審判員、そして、各連盟に監督10枚・コーチ15枚のIDカードを配布し、IDカードを持っていない一般の方々の試合会場への入場はできない。
- ◎ 大会は、公共の機関を利用しているので、大会に関係のない他の施設の使用は厳禁とする。また、大会終了後、10個のゴミ拾いを参加者全員で行い、“来た時よりも美しく”の柔道ルネッサンス運動を実施す。

第34回 九州少年柔道大会会場図



第34回 九州少年柔道大会試合順



18日 団体戦 試合順									
第一試合場	第二試合場	第三試合場	第四試合場	第五試合場	第六試合場	第七試合場	第八試合場	第九試合場	第十試合場
小学6年		小学4年		小学2年	小学5年		小学3年		小学1年
北九—宮崎	福中—佐賀	北九—山口	福中—長崎	福中—佐賀 筑後—長崎	福中—佐賀	筑後—宮崎	北九—長崎	筑後—佐賀	福中—長崎 北九—山口
北九—熊本	筑後—長崎	北九—佐賀	筑後—宮崎	北九—宮崎 福中—大分	福中—山口	北九州—大分	北九—大分	福中—宮崎	筑後—宮崎 福中—大分
福中—山口	筑後—大分	福中—大分	筑後—熊本	筑後—山口 北九—熊本	筑後—長崎	北九州—熊本	筑後—山口	福中—熊本	北九—佐賀 筑後—熊本
宮崎—熊本	長崎—大分	山口—佐賀	宮崎—熊本	佐賀—大分 長崎—山口	佐賀—山口	大分—熊本	長崎—大分	宮崎—熊本	長崎—大分 山口—佐賀
佐賀—山口		長崎—大分		宮崎—熊本 決勝T1回戦①	宮崎—長崎		佐賀—山口		宮崎—熊本 決勝T1回戦①
決勝T1回戦①	決勝T1回戦②	決勝T1回戦①	決勝T1回戦②	決勝T1回戦② 準決勝①	決勝T1回戦①	決勝T1回戦②	決勝T1回戦①	決勝T1回戦②	決勝T1回戦② 準決勝①
準決勝①	準決勝②	準決勝①	準決勝②	準決勝②	準決勝①	準決勝②	準決勝①	準決勝②	準決勝②
決勝		決勝		決勝	決 勝		決勝		決 勝

(決勝に進出したチームのオーダー表は、決勝試合会場に移動して下さい)

19日 個人戦 試合会場									
軽三 量年 級	重三 量年 級	軽四 量年 女子	重四 量年 女子	軽五 量年 女子	重五 量年 女子	軽六 量年 女子	重六 量年 女子	の二 部年 生	の一 部年 生
※4年生男子軽量級より6年生男子重量級は、上記試合が終わった試合場にて順次試合を始めます。									